

科目名	教材・授業研究Ⅳ（スポーツ身体）	担当教員	渋谷 聡
科目属性	専門科目 A	単位数	2単位（0.5単位）
<p>【授業の目的・ねらい】</p> <p>本授業では、体育（保健体育）科の指導法と教材開発についての発表や考察、事例研究を通して指導・教材開発に対する分析力の向上を目指す。また、模擬授業を通して様々な個性を持った子どもやあらゆる授業場面に対応できる実践的指導力を高めるとともに、教材開発能力の向上をはかる。</p> <p>ここでの教材開発とは、いわゆる「教材づくり」のことであり、「素材」としてのスポーツ種目や運動の技を教え学ばれるべき「学習内容」を見通しながら、学習者が取り組み、チャレンジしていく直接的な課題に再構成（加工・修正）していくことである。また、この学習内容をどのように生徒に伝えていくかという手段が指導法となる。</p> <p>本授業では、典型教材を示すことを第一目的としているのではなく、これらを踏まえて個々の事例や受講者の発表を通してディスカッションすることによって、個々の特性に応じた実践的な指導力を向上させていく。</p> <p>本授業の具体的な到達目標は、以下の3点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 体育全般の問題点を明らかにし、それを解決するための方法や考え方を理解する。 2. 事例研究を通して、教材開発力や実践指導力の向上をはかる。 3. 模擬授業を行い、それを相互に評価することによって、教材開発や授業研究におけるより高次な教育実践を迫及する。 			
<p>【授業計画】</p> <p>授業計画（全15回）</p> <p>本授業の授業計画は以下の通りである。</p> <p>第1回 体育授業に関わる諸課題の把握</p> <p>第2回 体育授業に関わる諸課題の要因分析</p> <p>第3回 体育授業に関わる諸問題の解決方法の検討</p> <p>第4回 体育授業に関わる諸問題の実践の検討</p> <p>第5回 事例を用いた教材の価値の検討</p> <p>第6回 事例を用いた実践的指導の検討</p> <p>第7回 発達段階に応じた教材開発の分析・検討</p> <p>第8回 発達段階に応じた指導場面設定の分析・検討</p> <p>第9回 心身一体をとらえる実践的指導の分析・検討</p> <p>第10回 個に応じた指導と支援についての分析・検討</p> <p>第11回 「わかった。できた」ことを引き出す実践的指導の分析・検討</p> <p>第12回 模擬授業を通じた実践的指導の分析・検討</p> <p>第13回 模擬授業を通して、実践的な指導についての相互評価及び考察</p> <p>第14回 模擬授業を通して、教材開発についての相互評価及び考察</p> <p>第15回 授業のまとめ（レポートの作成）</p>			
<p>【評価方法】</p> <p>「スクーリング評価」（25%）、「レポート評価」（25%）、「科目修得試験」（50%）の割合で総合して評価する。</p>			

【教科書】

- ① 岩田靖「体育の教材を創る 運動の面白さに誘い込む授業づくりを求めて」(大修館書店 2012) ISBN-10:4469267287
- ② 堀江文利・鈴木直樹・成家篤史・田中勝行・寺坂民明・濱田敦志「動きの『感じ』と『気づき』を大切にしたい陸上運動の授業づくり」(教育出版 2012) ISBN-10:4316802305
- ③ 大南英明・吉田昌義・石塚謙二監修「障害のある子どものための体育・保健体育」(東洋館出版社 2013) ISBN-10:4491029768

【参考図書】

渋谷聡「スポーツ心理学を生かした『誰でもできる陸上競技』練習法・指導法－中学校・高校編」(かまくら春秋社 2015) ISBN-10:4774080020

市村操一・阪田尚彦・賀川昌明・松田泰定編「体育授業の心理学」(大修館書店 2002) ISBN-10:4469264865

西園一也「発達障がいの子どものための体育の苦手を解決する本」(草思社 2013) ISBN-10:4794219849

清水由・小島哲夫・川上康則「気になる子の体育 つまづき解決 BOOK: 授業で生かせる実例 52 (教育ジャーナル選書)」(学研 2015) ISBN-10:4054062954

文部科学省編「小学校学習指導要領解説・体育編」(東洋館出版社 2008) ISBN-10:4491031614

文部科学省「中学校学習指導要領解説・保健体育編」(東山書房 2008) ISBN-10:4827814635

文部科学省「高等学校学習指導要領解説・保健体育編 体育編」(東山書房 2009)

ISBN-10: 4827814813